

《担当者名》 高橋 由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp 池森 康裕 下山 美由紀

【概要】

介護実習を踏まえ他者とのディスカッション、プロセスレコードを通して自己を客観的に振り返り、課題を明確にできるよう学習する。生活者をどのようにとらえるか、利用者の生活ニーズを整理・理解でき、介護福祉士に求められる倫理性と専門性を明確化し、理解することができるよう学習する。

【学修目標】

1. 福祉専門職としての自覚を促し、専門職に求められる資質、技能及び自己に求められる課題把握など、総合的対応能力を習得することができる。
2. 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義と方法を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	実習の意義と目的、実習の構成などのガイダンスを行う 実習先の個人調査票を記入する	高橋
2	実習先の理解	入居型施設の特徴と、利用者の生活について理解する 個人票を作成する	高橋
3	実習先の理解	実習施設の理解、施設の役割・機能。関係法規を確認する 個人課題を作成する	高橋
4	実習先の理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習する 個人課題を作成する	高橋 池森 下山
5	実習先の理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習する 個人課題を作成する	高橋 池森 下山
6	実習先の理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習する 個人課題を作成する	高橋 池森 下山
7	実習準備	実習課題の検討 事前訪問での注意事項	高橋 池森 下山
8	事前訪問	施設訪問、実習課題の提出、実習の留意事項	高橋 池森 下山
9	リスクマネジメント	リスクマネジメントについて理解する	高橋 池森 下山
10	実習前確認	実習の留意事項や実習中の学習について確認する。 実習用備品の配布	高橋 池森 下山
11	実習の振り返り	介護過程の検討	高橋 池森 下山
12	実習の振り返り	介護過程の検討 担当ケースの課題について共有	高橋 池森 下山
13	実習の振り返り	報告書作成	高橋 池森 下山
14	実習の振り返り	報告書作成	高橋 池森 下山
15	実習のまとめ	介護実習 に向けての課題整理 報告書作成	高橋 池森 下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

学習態度30%、レポートなどの提出の有無30%、それらの内容評価40%とする。

なお、評価に関しては複数の実習担当教員の合議により行う。

**【教科書】**

特に使用しない。

**【参考書】**

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習 第2版』中央法規 2022

**【備考】**

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

**【学修の準備】**

学生自身が暮らしている地域には、どのような高齢者福祉施設や障がい者支援施設があるのか、特徴を調べておくこと。  
自身が調べた福祉サービスは、演習で発表するので、各自ホームページ等で情報収集に努めておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2.1.3.4

**【実務経験】**

高橋 由紀（介護福祉士）池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士） 下山 美由紀（看護師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床および地域での介護・看護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。